

令和8年度 試行研修 児童相談所関連トピックス研修（第1回）

「ナラティブ・エクスポージャー・セラピー」

～トラウマ体験に焦点をあて、人生史を語り直す心理療法を学ぶ～

◆研修のねらい

虐待はこどもの心に深刻な影響を与えるため、虐待を受けたこどもの支援においては、トラウマ症状を適切に評価し、その影響を理解したうえで、必要に応じてトラウマに対応したケアを行うことが重要です。

児童相談所では、トラウマに対応した心理教育等は行われているものの、トラウマに焦点をあてたケアを実施できる人材、体制は十分ではありません。そこでまず児童心理司等がトラウマに特化したケアへの理解を深め、実践的な技術を学ぶことで、自ら、または関係機関と連携して対応できる体制づくりをめざします。加えて、技法を体験的に学ぶ中でトラウマへの理解を深めることもめざします。

本研修では、トラウマに特化した心理療法の一つである「ナラティブ・エクスポージャー・セラピー（NET）」を取り上げ、その理論と技法をデモンストレーション・ロールプレイを通じて学びます。

日 程	令和8年12月21日（月）・22日（火） 2日間 9時00分～17時00分
会 場	特別区職員研修所（千代田区九段北1-1-4） 801・802教室
対 象	児童心理司、心理職として採用された職員
講 師	森 茂起 （甲南大学名誉教授／臨床心理士） NET開発者によるトレーニングコース（ドイツ・コンスタンツ大学）修了。「ナラティブ・エクスポージャー・セラピーの理論と実践」（星和書店）ほか著訳書多数。日本ナラティブ・エクスポージャー・セラピー（NET）研究会において研修実績多数。こども家庭庁令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業「虐待を受けたこどものトラウマケアについての実態把握等に関する調査研究」検討委員会座長
内 容	1 NETの理論と技法 2 NETの実践

※本研修は各区の需要数にもとづく割り当て人数がありませんので多くの方の参加をお待ちしております。

◆ナラティブ・エクスポージャー・セラピー（NET）とは

トラウマ体験に焦点を当てながら人生史を詳しく語り、「自伝」を作成していく作業を通じて、トラウマ体験に起因する不安・恐怖を処理し、統合された自伝的物語記憶の形成をめざす心理療法です。曝露（エクスポージャー）の要素を含むため、実施にあたっては理論と技法の十分な理解が必要です。